

平成 20 年度当初予算 重点的な取組別概要
<みえの舞台づくりプログラム>

くらし 2 : 多様な主体が連携・協働して取り組むごみゼロ社会づくりプログラム

(主担当部 : 環境森林部)

< プログラムの目標 >

「ごみゼロ社会」の実現に向け、ごみの減量化等の取組が、市町をはじめ住民、事業者、NPO等多様な主体の連携・協働により積極的に展開され、「ごみゼロ社会実現プラン」の短期目標（平成 22 年度）が達成されています。

< 構成事業（担当部） >

- (1) ごみゼロ社会実現推進事業（環境森林部）
- (2) 市町ごみ処理システムの最適化検討事業（環境森林部）

< プログラムの想定事業費 >

（単位：千円）

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(30,809)	(24,000)	24,000	26,000
22,809	34,230		

H19 年度は現計予算額、H20 年度は当初予算要求額

H19 および H20 年度の上段括弧書き、H21 年度、H22 年度は第二次戦略計画の記載額

< 構成事業の目標 >

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1) ごみの排出量削減率 (家庭系:対 H14 年度比)	目標値	-	3 %	4 %	5 %	6 %
	実績値	1 %				
(2) 市町ごみ処理システム最適化検討市町数 (累計)	目標値	-	11 市町	17 市町	23 市町	29 市町
	実績値	5 市町				

< 進捗状況（現状と課題） >

- ・県では、平成 17 年 3 月に「ごみゼロ社会実現プラン」を策定し、多様な主体の参画のもと、ごみの減量化等に取り組んでいるところです。
- ・これまで、プランに掲げるごみ減量化に効果的な取組として、家庭系ごみ有料化制度の導入検討、リサイクルパーク整備事業などのモデル事業を実施するとともに、プラン推進の取組について「ごみゼロプラン推進委員会」との連携のもと評価・検証を行ってきました。
- ・こうした取組によって、資源としての再利用率の向上や最終処分量の削減など一定の効果が得られましたが、家庭系ごみの排出量削減率は平成 14 年度比で 1 %にとどまっており、平成 22 年度のプランの短期目標（6 %）に向けて更なる注力が必要です。
- ・また、ごみ減量化等の取組が、市町をはじめ住民・事業者・NPO等多様な主体の連携・協働により展開されるよう、事業者セミナーの開催やホームページの活用などを通じて、ごみ減量化の取組の紹介などを実施するとともに、ごみ減量の取組の一層の活性化を促すため、ごみゼロフォーラムの開催、ごみゼロキャラクターの活用、ごみゼロバスの運行や啓発資材などを活用した PR に取り組んでいます。さらに、ごみゼロ社会実現に向け、県全体としてごみ減量化に取り組む気運の醸成に努めていく必要があります。

<平成20年度の取組方向>

ごみの減量化に向けて、新たな制度やシステムの導入・構築に関するモデル事業を行い、より実効性の高い施策として普及することでごみ減量化の取組が県全域に展開されるよう取り組みます。

引き続き「ごみゼロプラン推進委員会」との連携のもと取組の評価、検証を行うとともに、ごみ減量化に取り組む各主体間の情報共有や交流を進めていきます。

市町における効果的で効率的なごみ処理システムの構築に向け、廃棄物会計の普及・浸透を積極的に進めます。

ごみゼロ社会づくりに向けた様々な主体によるごみ減量化の取組をより一層活性化するため、引き続き、ごみゼロキャラクターなどの啓発資材を活用し、県全体でごみ減量化に取り組む気運を醸成していきます。

<他の主体の参画内容>

- ・住民は、市町が実施するごみ減量化施策等に積極的に参画します。
- ・事業者は、製品等の製造や流通、消費段階において排出する廃棄物をできる限り少なくするための工夫（環境配慮設計など）や、長期にわたり使用できる製品の開発、修理体制の充実等、拡大生産者責任に基づく取組を推進します。
- ・市町は、家庭ごみの有料化、生ごみの再資源化、事業系ごみの適正な処理料金体系の検討等、ごみの減量化等に向けた施策を実施するとともに、廃棄物会計などを活用し、より効率的なごみ処理システムの構築に取り組みます。

<主な予算要求事業>

「ごみゼロ社会」実現推進事業【20年度予算額 34,230千円】(事業(1)(2))

「ごみゼロ社会実現プラン」の短期目標（平成22年度）の着実な達成を実現するため、プランに掲げる取組みのなかでもごみの減量化に効果的な取組を選択し、モデル事業として実施するとともに、これまでの成功事例を活用し、県全域への展開をはかります。また、ごみゼロ社会づくりへの取組をより親しみやすく感じてもらえるようごみゼロキャラクターを活用した啓発を通して、県全体でごみ減量化に取り組む気運を醸成していきます。